

第25回自動車所有県民1,000人に聞く
平成28年7～9月調査実施

車社会を あなたはどのようにお考えですか



地球環境と車社会の未来をみつめて…



一般社団法人
長野県自動車販売店協会

ま え が き

美しい自然環境に恵まれた信州も高速交通網の整備が進み、自動車の保有台数はこれまで順調な伸びを示して参りましたが、ここ数年は景気の低迷、若者の車離れ等の要因から横ばいの状況が続いております。

一方、信州は公共交通機関の整備が遅れていることから、“自動車との関連なくして生活は語れない”といった車社会中心の地域でもあり、長野県が目指す『美しく・住みよい・安全な環境づくり』は、私たち自動車販売業界に課せられた大きな問題であると思います。

このため、自動車販売を通じて地域社会に少しでも役立てばとの考えから、長野県下の自動車販売店30社で構成しております私ども長野県自動車販売店協会では、交通安全活動や環境保全活動を主たる事業として積極的に取り組んできているところでございます。

さて、このたび当協会の諸活動をより効果的に進める上での“より良き方向付け”を行うことを目的とし、県内自動車保有者1,000人を対象に「交通安全・環境保全問題並びに行政機関・自動車販売業界に対する要望・意見を求めるアンケート調査」を実施いたしました。本調査も本年で25回目となりますが、お寄せ頂きました貴重なご意見・ご要望を少しでも役立たせるため、ご回答を分析し資料として纏めましたので、ご参考となれば幸甚と存じます。

終わりに貴重なご意見をお寄せいただくにあたり、ご協力いただきました回答者の皆様方に対し、心から感謝と御礼を申し上げます。

なお、調査方法につきましては、自動車販売店にご来店されたユーザーや交通安全教室受講者にご協力いただき調査を依頼したものです。

平成29年1月

一般社団法人長野県自動車販売店協会
理事長 宇 都 宮 進 一

も く じ

- Q 1** あなたの年齢・性別についてお尋ねします。 1ページ
- Q 2** あなたの職業をお聞かせください。 1ページ
- Q 3** あなたが自動車を購入される際、どのような点に関心を持って選ばれますか。 2ページ
- Q 4** あなたが、現在お乗りいただいている自動車は、初年度登録（新車登録）から何年使用しておられますか。 3ページ
- Q 5** 定期点検についてお伺いします。
 1) あなたは、日頃、使用している自家用車を定期的に点検しておられますか。 4ページ
 2) あなたは、点検や修理を何処に依頼されますか。 4ページ
- Q 6** 排ガス不正問題、燃費不正問題についてお伺いします。
 1) こうした不正に対して感じることをお答えください。
 2) 前問で、①「大いに関心がある」②「まあまあ関心がある」と答えられた方にお尋ねします。自動車業界に対しどのような対応が望ましいと感じますか。 5ページ
- Q 7** 福祉車両についてお伺いします。
 1) あなたは、「福祉車両」を知っていますか。次の中から選び下さい。 6ページ
 2) あなたは、「福祉車両」について興味がありますか。次の中から選び下さい。 6ページ
- Q 8** 自動車リサイクル法についてお伺いします。
 1) あなたは、自動車リサイクル法を知っていますか。次の中から選び下さい。 7ページ
 2) 前問で、「知っている」と答えられた方にお尋ねします。自動車を購入又は下取りする際、自動車リサイクル法について販売店から説明を受けましたか。 7ページ
 3) 前問で、「知っている」と答えられた方にお尋ねします。自動車リサイクル法について感じることを選んでください。 7ページ
- Q 9** 交通安全についてお伺いします。
 1) 昨年6月1日から道路交通法が一部改正され、交通の危険を生じさせる違反を繰り返す自転車の利用者に安全運転を行わせるための「自転車運転者講習」の受講が義務付けられました。
 ア) あなたは、自転車利用に関する道路交通法改正後、自転車利用者のマナーに対する意識や行動が改善されてきたと感じますか。 8ページ
 イ) 前問で、「依然として、良くなってきているとは言えない」と答えた方にお尋ねします。あなたは、自転車運転者のどのような違反行為が特に多いと思いますか。 9ページ
 2) 自動車やバイク等の薄暮時からのヘッドライト点灯が浸透しておりますが、夜間のヘッドライト無灯火走行や高速道路トンネル内でのヘッドライト無灯火の自動車を見受けることがあります。あなたは、このような無灯火運転の危険性を防止するため、どのような対策が必要だと思いますか。 9ページ
- Q 10** あなたは、車の防犯対策として、どのような事を行っておられますか。 10ページ
- Q 11** 次のエコ・ドライブ10項目の内、あなたが日頃、特に心掛けていることを3つまで選び下さい。 11ページ
- 【 付 録 】 『エコ・ドライブ』について** 12ページ
- 【 ユーザーの皆様からお寄せいただいたご意見・ご要望 】** 14ページ
- 【 登場キャラクターの紹介 】**

ミドリちゃん



分析・検討は
私に任せてね！

じゃあワシは
年別対比じゃな！



くるま博士

資料をご覧ください上での注意点です！

※ 各設問表中の黄色網掛け部分は、「年代中」及び「合計」の中で最も割合の高い箇所を表しています。

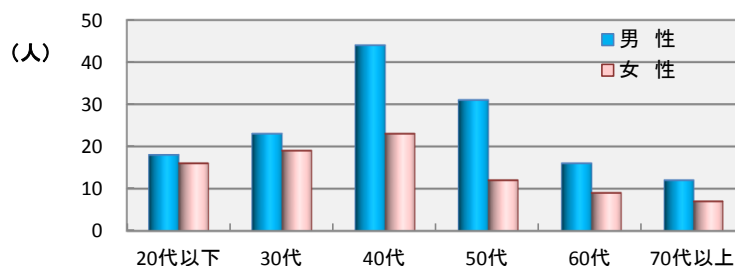
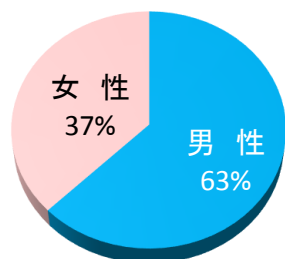
※ 設問により無回答があるため、全回答者数より少ない場合があります。

※ 構成比率は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

※ Q11は、4つ以上回答された方がいるため、回答数が3の倍数を超える年代があります。

Q1：あなたの年齢・性別についてお尋ねします。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
男 性	18	52.9%	23	54.8%	44	65.7%	31	72.1%	16	64.0%	12	63.2%	144	62.6%
女 性	16	47.1%	19	45.2%	23	34.3%	12	27.9%	9	36.0%	7	36.8%	86	37.4%
合 計	34		42		67		43		25		19		230	
構成比(%)	14.8%		18.3%		29.1%		18.7%		10.9%		8.3%			



分析・検討

① 全体では、

ユーザー1,000人に対し、230人の方から回答をいただき、**回答率は23.0%**です！

● 男性 62.6% ● 女性 37.4%

② 年代別では、

40代が最も多く**29.1%**、次いで、**50代・30代**の順！
30代、40代、50代の回答率が高く、特に男性が多く回答して下さいました！

総じて、

20代以下と30代は、男性と女性が約半数、40代以上は、男性が6割以上の方が回答して下さいましたね！



年別対比(3年間)

回答項目	26年度		27年度		28年度	
	人員	%	人員	%	人員	%
男 性	197	58.8%	214	55.9%	144	62.6%
女 性	138	41.2%	169	44.1%	86	37.4%
合 計	335		383		230	

● 年別対比

・過去3年間では、**回答率が最も低くなってしまったようじゃ！**

アンケートにご協力いただき
誠にありがとうございました。



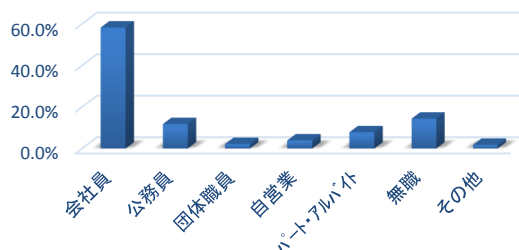
Q2：あなたの職業をお聞かせ下さい。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
会社員	26	76.5%	33	78.6%	45	67.2%	21	48.8%	7	28.0%	2	10.5%	134	58.3%
公務員	7	20.6%	3	7.1%	9	13.4%	7	16.3%	1	4.0%	0	0.0%	27	11.7%
団体職員	0	0.0%	0	0.0%	3	4.5%	2	4.7%	0	0.0%	0	0.0%	5	2.2%
自営業	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	4	9.3%	2	8.0%	2	10.5%	9	3.9%
パート・アルバイト	1	2.9%	1	2.4%	6	9.0%	7	16.3%	3	12.0%	0	0.0%	18	7.8%
無職(主婦・年金生活者等)	0	0.0%	3	7.1%	4	6.0%	2	4.7%	9	36.0%	15	78.9%	33	14.3%
その他	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	0	0.0%	3	12.0%	0	0.0%	4	1.7%
合 計	34		42		67		43		25		19		230	

分析・検討

全体・年代別では、

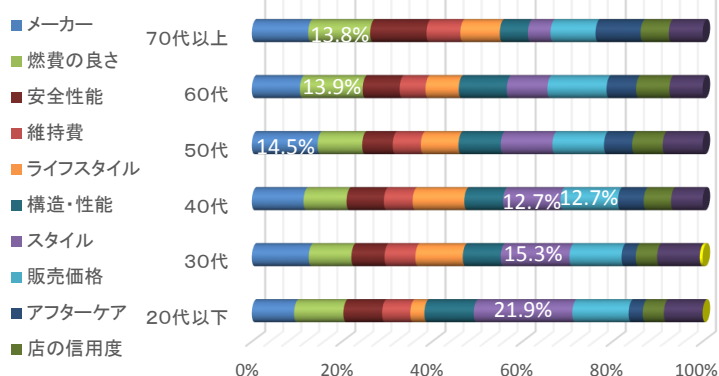
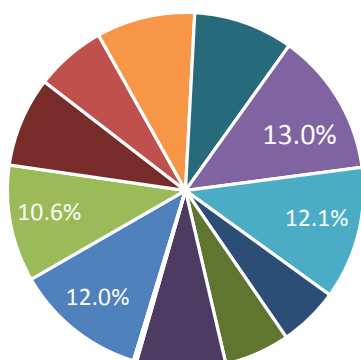
全体では、「**会社員**」の方が**58.3%**で最も多く、年代別でも、70代以上を除く**全年代で「会社員」**の方の回答率が高いですね！



Q3：あなたが自動車を購入される際、どのような点に関心を持って選ばれますか。
次の中からお選び下さい。

(複数回答可)

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
メーカー	12	9.4%	24	12.7%	36	11.4%	28	14.5%	13	10.7%	10	12.5%	123	12.0%
燃費の良さ	14	10.9%	18	9.5%	30	9.5%	19	9.8%	17	13.9%	11	13.8%	109	10.6%
安全性能	11	8.6%	14	7.4%	26	8.2%	13	6.7%	10	8.2%	10	12.5%	84	8.2%
維持費	8	6.3%	13	6.9%	20	6.3%	12	6.2%	7	5.7%	6	7.5%	66	6.4%
家族のライフスタイル	4	3.1%	20	10.6%	36	11.4%	16	8.3%	9	7.4%	7	8.8%	92	8.9%
自動車の構造や性能	14	10.9%	16	8.5%	27	8.5%	18	9.3%	13	10.7%	5	6.3%	93	9.0%
スタイル(内外装含む)	28	21.9%	29	15.3%	40	12.7%	22	11.4%	11	9.0%	4	5.0%	134	13.0%
販売価格	16	12.5%	22	11.6%	40	12.7%	22	11.4%	16	13.1%	8	10.0%	124	12.1%
アフターケアの良し悪し	4	3.1%	6	3.2%	18	5.7%	12	6.2%	8	6.6%	8	10.0%	56	5.4%
販売店の信用度	6	4.7%	9	4.8%	19	6.0%	13	6.7%	9	7.4%	5	6.3%	61	5.9%
営業スタッフの人柄	11	8.6%	18	9.5%	22	7.0%	17	8.8%	9	7.4%	6	7.5%	83	8.1%
その他	0	0.0%	0	0.0%	2	0.6%	1	0.5%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.3%
合 計	128		189		316		193		122		80		1,028	



分析・検討

① 全体では、
「スタイル」が13.0%でトップ！
次いで、「販売価格」・「メーカー」となっていますね！

② 年代別では、
20代以下から40代では、「スタイル」を、
50代では、「メーカー」を、
60代と70代では、「燃費の良さ」を、
重視し、年代によって大きく分かれたね！

総じて、
「スタイル」、「販売価格」、「メーカー」、
「燃費の良さ」の4つに関心
を持って選択しているようです！

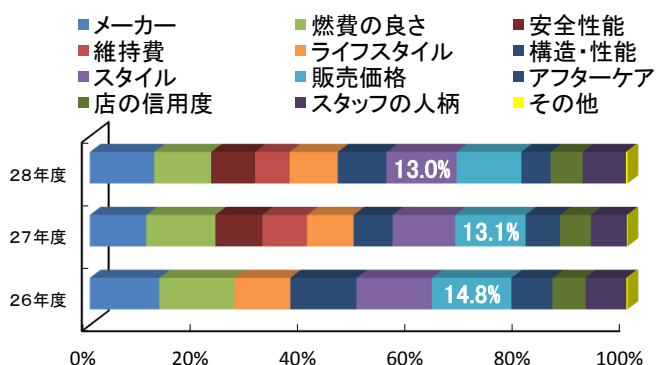


年別対比(3年間)

回答項目	26年度		27年度		28年度	
	人員	%	人員	%	人員	%
メーカー	172	12.9%	175	10.5%	123	12.0%
燃費の良さ	187	14.0%	215	12.9%	109	10.6%
安全性能	-	-	146	8.7%	84	8.2%
維持費	-	-	139	8.3%	66	6.4%
家族のライフスタイル	138	10.4%	145	8.7%	92	8.9%
自動車の構造や性能	164	12.3%	121	7.2%	93	9.0%
スタイル(内外装含む)	187	14.0%	194	11.6%	134	13.0%
販売価格	197	14.8%	219	13.1%	124	12.1%
アフターケアの良し悪し	102	7.7%	107	6.4%	56	5.4%
販売店の信用度	82	6.2%	96	5.7%	61	5.9%
スタッフの人柄	101	7.6%	112	6.7%	83	8.1%
その他	3	0.2%	2	0.1%	3	0.3%
合 計	1,333		1,671		1,028	

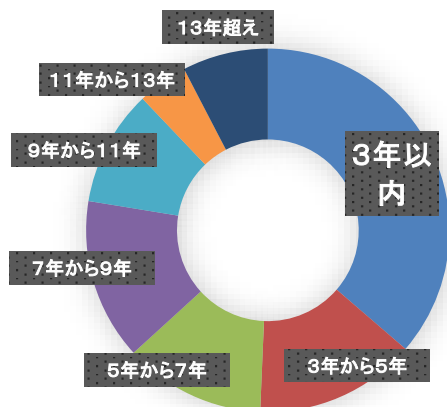
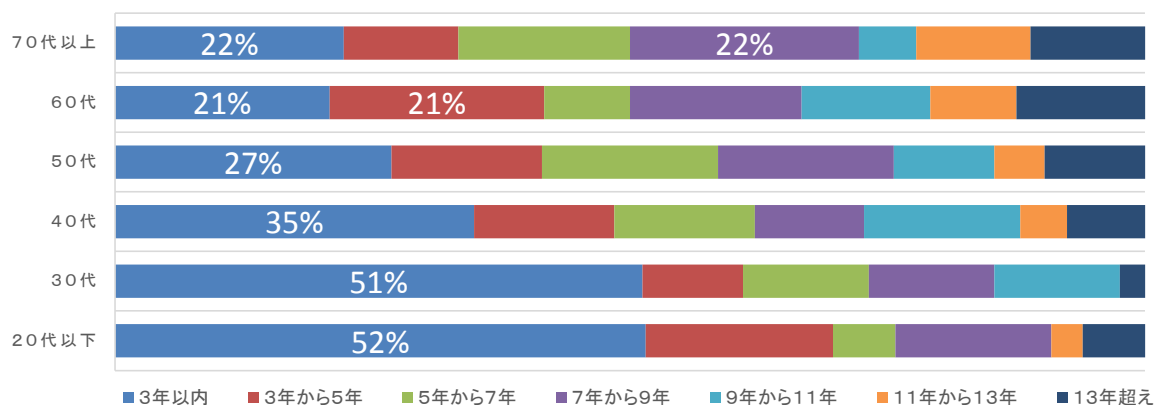
● 年別対比

・ 過去2年は「販売価格」がトップだったが、
「スタイル」がトップとなったようじゃ！
・ 今までは「燃費の良さ」、「販売価格」と
いった金銭的要素が重要視
されていたようじゃが、年々
減少しているのは、消費者
のお財布にも余裕が出て
きたようじゃな！



Q4：あなたが、現在お乗りいただいている自動車は、初年度登録(新車登録)から何年使用しておられますか。次の中から選び下さい。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
3年以内である	17	51.5%	21	51.2%	23	34.8%	11	26.8%	5	20.8%	4	22.2%	81	36.3%
3年を超え5年以内である	6	18.2%	4	9.8%	9	13.6%	6	14.6%	5	20.8%	2	11.1%	32	14.3%
5年を超え7年以内である	2	6.1%	5	12.2%	9	13.6%	7	17.1%	2	8.3%	3	16.7%	28	12.6%
7年を超え9年以内である	5	15.2%	5	12.2%	7	10.6%	7	17.1%	4	16.7%	4	22.2%	32	14.3%
9年を超え11年以内である	0	0.0%	5	12.2%	10	15.2%	4	9.8%	3	12.5%	1	5.6%	23	10.3%
11年を超え13年以内である	1	3.0%	0	0.0%	3	4.5%	2	4.9%	2	8.3%	2	11.1%	10	4.5%
13年を超える	2	6.1%	1	2.4%	5	7.6%	4	9.8%	3	12.5%	2	11.1%	17	7.6%
合 計	33		41		66		41		24		18		223	



分析・検討

- ① 全体では、
「3年以内」が36.3%でトップ、次いで、
「3年を超え5年以内」と「7年を超え9年以内」が
14.3%となりました。
- ② 年代別では、
20代から50代では、新車登録から「3年以内」と答えた
方が最も高くなりましたね！
特に20代以下と30代の若い世代では、5割以上の方が
「3年以内」の車に乗られているようですね！

総じて、
新車登録から「3年以内」の車に乗られて
いる方は若い世代ほど多く、
反面、「11年を超え」の車に乗られて
いる方は年配世代ほど多い
ようですね！



● 年別対比

- 「3年以内」の割合を年度別にみると、
 - 26年度は 31.6%
 - 27年度は 32.4%
 - 28年度は **36.3%**
- 「7年以上使用」の割合を年度別にみると、
 - 26年度は 35.8%
 - 27年度は 40.3%
 - 28年度は **36.8%**

これまで、年々車齢年数が伸びておったが、
初めて「7年以上使用」の比率が前年を
下回る結果となったようじゃ！
これは、「3年以内」の数値が年々
伸長していることから分かるのとおり、
ここ数年でかなりの車の買い
替えが進んだようじゃな！



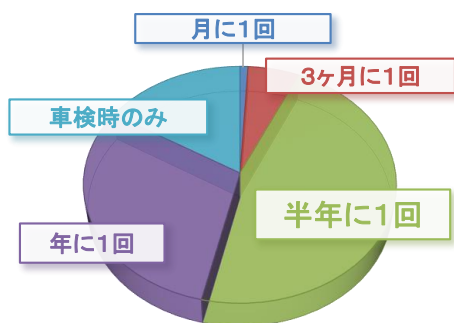
年別対比(3年間)

回答項目	26年度		27年度		28年度	
	人員	%	人員	%	人員	%
3年以内	105	31.6%	123	32.4%	81	36.3%
3年を超え5年	70	21.1%	54	14.2%	32	14.3%
5年を超え7年	38	11.4%	50	13.2%	28	12.6%
7年を超え9年	44	13.3%	56	14.7%	32	14.3%
9年を超え11年	41	12.3%	46	12.1%	23	10.3%
11年を超え13年	20	6.0%	25	6.6%	10	4.5%
13年を超える	14	4.2%	26	6.8%	17	7.6%
合 計	332		380		223	

Q5 : 定期点検についてお伺いします。

- 1) あなたは、日頃、使用している自家用車を定期的に点検しておられますか。
次の中から一つだけお選び下さい。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
月に1回程度点検している	1	3.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.5%	0	0.0%	0	0.0%	2	0.9%
3ヶ月に1回程度点検している	2	6.1%	2	5.3%	3	4.5%	2	5.0%	2	8.3%	2	9.5%	13	5.9%
半年に1回点検している	14	42.4%	15	39.5%	42	63.6%	21	52.5%	7	29.2%	5	23.8%	104	46.8%
年に1回点検している	9	27.3%	16	42.1%	16	24.2%	10	25.0%	7	29.2%	9	42.9%	67	30.2%
車検時のみ	7	21.2%	5	13.2%	5	7.6%	6	15.0%	8	33.3%	5	23.8%	36	16.2%
合 計	33		38		66		40		24		21		222	



分析・検討

① 全体では、
「半年に1回」が46.8%でトップ、
次いで、「年に1回」が30.2%となりましたね！

② 年代別では、
20代以下、40代、50代では、「半年に1回」
30代、70代以上では、「年に1回」
60代では、「車検時のみ」が多く
なっていますね！



● 年別対比

・ 過去2年では、「半年に1回」がトップは変わらないようじゃが、
「車検時のみ」が減って、「半年に1回」、
「年に1回」が増加しておるな！

6ヶ月点検、又は法定点検である12ヵ月
点検が徐々にユーザーの皆様浸透
してきているようじゃな！

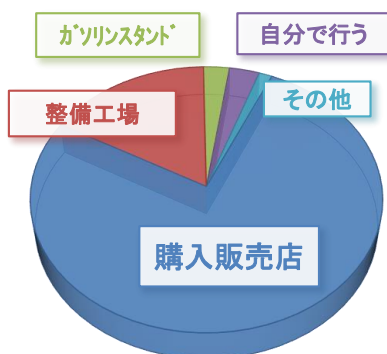


年別対比(2年間)

回答項目	27年度		28年度	
	人員	%	人員	%
月に1回	10	2.6%	2	0.9%
3ヶ月に1回	23	6.1%	13	5.9%
半年に1回	165	43.4%	104	46.8%
年に1回	86	22.6%	67	30.2%
車検時のみ	96	25.3%	36	16.2%
合 計	380		222	

- 2) あなたは、点検や修理を何処に依頼されますか。次の中から一つだけお選び下さい。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
購入した販売店	25	75.8%	29	72.5%	58	81.7%	34	82.9%	17	68.0%	13	65.0%	176	76.5%
自動車整備工場	6	18.2%	9	22.5%	7	9.9%	4	9.8%	7	28.0%	5	25.0%	38	16.5%
ガソリンスタンド	0	0.0%	2	5.0%	1	1.4%	1	2.4%	1	4.0%	1	5.0%	6	2.6%
自分で行う	1	3.0%	0	0.0%	3	4.2%	2	4.9%	0	0.0%	1	5.0%	7	3.0%
その他	1	3.0%	0	0.0%	2	2.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.3%
合 計	33		40		71		41		25		20		230	



分析・検討

全体では、
点検・整備は、約8割の方が「購入販売店」で行うようですね！

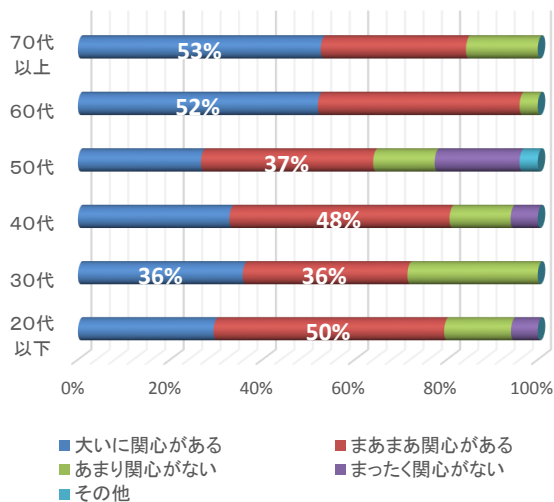
総じて、
点検・整備は、販売店で行なう方が大半
であり、販売店に対する高い信頼度が
伺えますね！又、各メーカーが実施
するメンテナンスパックなどの
サービスが利用されている結果ですね！



Q6：昨年頃から、フォルクスワーゲンの排ガス不正問題、三菱自動車工業、スズキ自動車の燃費不正問題等が報道されております。

1) こうした不正に対して感じることをお答えください。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
大いに興味がある	10	29.4%	15	35.7%	22	32.8%	20	26.7%	13	52.0%	10	52.6%	90	34.4%
まあまあ興味がある	17	50.0%	15	35.7%	32	47.8%	28	37.3%	11	44.0%	6	31.6%	109	41.6%
あまり関心がない	5	14.7%	12	28.6%	9	13.4%	10	13.3%	1	4.0%	3	15.8%	40	15.3%
まったく関心がない	2	5.9%	0	0.0%	4	6.0%	14	18.7%	0	0.0%	0	0.0%	20	7.6%
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	4.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	1.1%
合 計	34		42		67		75		25		19		262	



分析・検討

① 全体では、
「まあまあ興味がある」がトップ。
次いで「大いに興味がある」で、両方合わせると
全体の76%でした！

② 年代別では、
20代以下から50代では、「まあまあ興味がある」が、
60代・70代以上では、「大いに興味がある」が、
最も高い割合ですね！

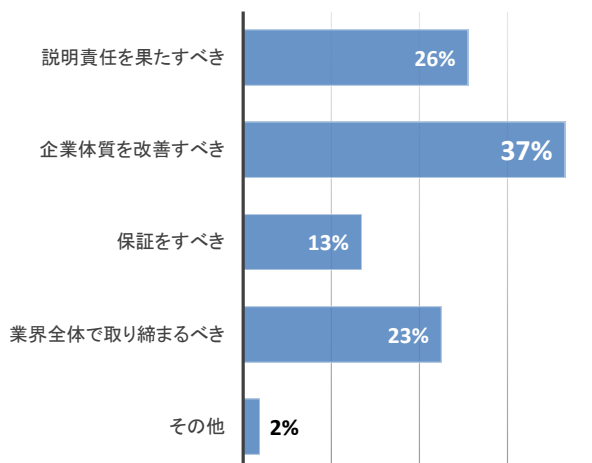
総じて、
多くのユーザーの皆様の自動車の
不正問題に対する関心の高さが
伺えますね！



2) 前問で、①「大いに興味がある」②「まあまあ興味がある」と答えられた方にお尋ねします。
自動車業界に対しどのような対応が望ましいと感じますか。次の中から選び下さい。

(複数回答可)

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
ユーザーに対して説明責任を果たすべきである	16	30.8%	18	27.7%	24	26.1%	20	26.7%	9	19.6%	6	17.6%	93	25.5%
不正をしたメーカーの企業体質を改善すべきである	18	34.6%	22	33.8%	34	37.0%	28	37.3%	18	39.1%	13	38.2%	133	36.5%
ユーザーへの応分の保証をすべきである	7	13.5%	9	13.8%	13	14.1%	10	13.3%	5	10.9%	5	14.7%	49	13.5%
自動車業界全体で取り締まるべきである	11	21.2%	15	23.1%	19	20.7%	14	18.7%	13	28.3%	10	29.4%	82	22.5%
その他	0	0.0%	1	1.5%	2	2.2%	3	4.0%	1	2.2%	0	0.0%	7	1.9%
合 計	52		65		92		75		46		34		364	



分析・検討

① 全体では、
「企業体質を改善すべき」がトップ。次いで、
「説明責任を果たすべき」でした！

② 年代別では、
「説明責任を果たすべき」を求める方は、若い世代
ほど割合が高いですね！

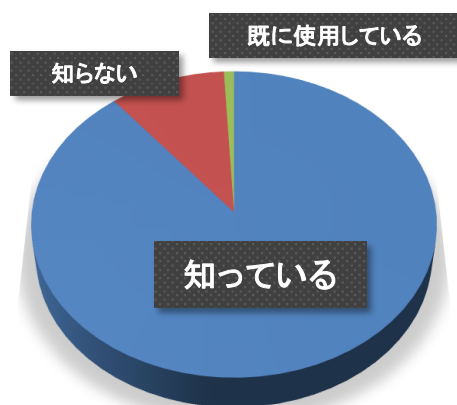
総じて、
こうした不正問題に対しては、生産する立場、
販売する立場として、真摯に
受け止め、ユーザーの皆様
に十分理解していただく
対応が望ましいですね！



Q7：近年、福祉車両の販売が増加しておりますが、福祉車両には大きく分けて「自操式」と「介護式」とがあります。前者は足や手の不自由な人が自分で運転する運転補助装置付きの車で、後者は車いす使用者を始め高齢者や体の不自由な人でも乗り降りしやすくする機能を装備した車です。

1) あなたは、「福祉車両」を知っていますか。次の中からお選び下さい。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
知っている	27	79.4%	40	95.2%	62	92.5%	40	93.0%	22	88.0%	14	73.7%	205	89.1%
知らない	7	20.6%	2	4.8%	5	7.5%	3	7.0%	2	8.0%	4	21.1%	23	10.0%
既に使用している	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.0%	1	5.3%	2	0.9%
合 計	34		42		67		43		25		19		230	



分析・検討

①全体では、
「知っている」と答えた方が89.1%と最も多く、
9割近くの方が福祉車両について認識しているよう
ですね！

②年代別では、
20代以下と70代以上では、「知らない」と回答した方が、
2割以上でしたね！

総じて
9割近くの方は福祉車両をご存じのようですが、
既に使用されている方は1%程度と実際に活用
されている方はまだまだ少ないようですね！



2) あなたは、「福祉車両」について興味がありますか。次の中からお選び下さい。

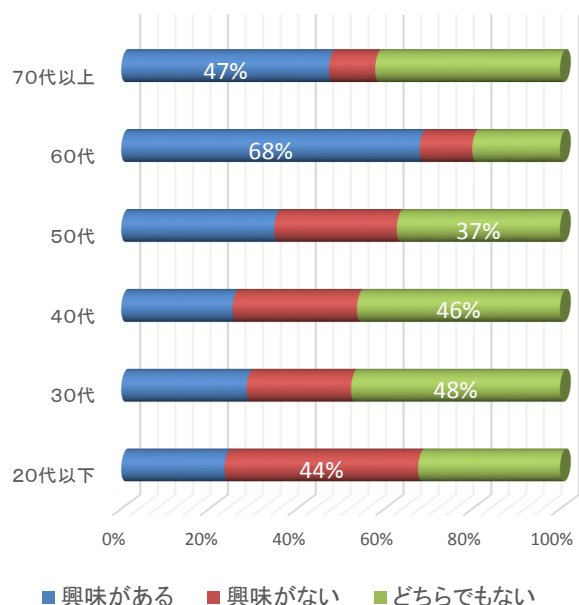
	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
興味がある	8	23.5%	12	28.6%	17	25.4%	15	34.9%	17	68.0%	9	47.4%	78	33.9%
興味がない	15	44.1%	10	23.8%	19	28.4%	12	27.9%	3	12.0%	2	10.5%	61	26.5%
どちらでもない	11	32.4%	20	47.6%	31	46.3%	16	37.2%	5	20.0%	8	42.1%	91	39.6%
合 計	34		42		67		43		25		19		230	

分析・検討

①全体では、
「どちらでもない」と答えた方が39.6%と最も
多かったですね！

②年代別では、
20代以下では、「興味がない」が、
30代から50代では、「どちらでもない」が、
60代と70代以上では、「興味がある」が
最も多く回答され、年代によって大きく回答が
別れましたね！

総じて、
福祉車両の機能・性能はどの
メーカーも目覚ましく進展
していますが、ユーザーの
皆様に十分周知されて
いないのではないのでしょうか。



Q8：日本では、1年あたり約360万台もの車が廃車になっており、車は鉄やアルミ等の金属が多く使われているためリサイクル率が高く、総重量の約80%がリサイクルされ、残りの20%はシュレッダーダストとして主に埋立て処分されていました。しかし、埋立て処分スペースが少なくなり、埋立て処分費用の高騰などの原因により、不法投棄・不適正処理が心配されるようになりました。又、カーエアコンの冷媒に利用されているフロン類がきちんと処理されないとオゾン層破壊や地球温暖化問題を引き起こすこと、車をリサイクルするにあたり、爆発性のあるエアバッグ類を安全に処理するには専門的な技術が必要とされることも問題となっていました。そこで、これらの問題を解決するため、2015年1月に自動車リサイクル法（使用済自動車の再資源化に関する法律）が施行され、10年が経過しました。

1) あなたは、自動車リサイクル法を知っていますか。次の中からお選び下さい。

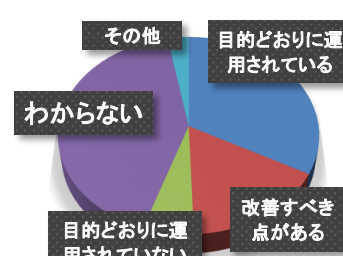
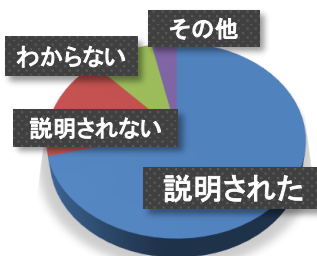
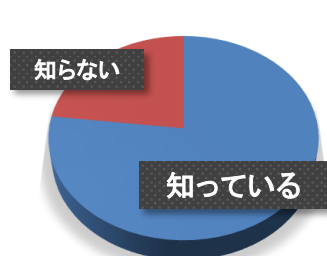
	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
知っている	17	51.5%	33	82.5%	56	83.6%	36	85.7%	19	76.0%	12	66.7%	173	76.9%
知らない	16	48.5%	7	17.5%	11	16.4%	6	14.3%	6	24.0%	6	33.3%	52	23.1%
合 計	33		40		67		42		25		18		225	

2) 前問で、「知っている」と答えられた方にお尋ねします。自動車を購入又は下取りする際、自動車リサイクル法について販売店から説明を受けましたか。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
説明されたと思う	9	45.0%	24	75.0%	49	86.0%	23	63.9%	14	73.7%	6	50.0%	125	71.0%
説明されないと思う	8	40.0%	3	9.4%	6	10.5%	7	19.4%	3	15.8%	3	25.0%	30	17.0%
わからない	3	15.0%	3	9.4%	2	3.5%	4	11.1%	1	5.3%	2	16.7%	15	8.5%
その他	0	0.0%	2	6.3%	0	0.0%	2	5.6%	1	5.3%	1	8.3%	6	3.4%
合 計	20		32		57		36		19		12		176	

3) 前問で、「知っている」と答えられた方にお尋ねします。自動車リサイクル法について感じることを選んでください。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
目的どおりに運用されていると思う	6	35.3%	12	36.4%	16	27.6%	14	38.9%	4	23.5%	5	38.5%	57	32.8%
改善すべき点があると思う	3	17.6%	1	3.0%	12	20.7%	8	22.2%	1	5.9%	4	30.8%	29	16.7%
目的どおりに運用されていないと思う	1	5.9%	5	15.2%	4	6.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	10	5.7%
わからない	7	41.2%	14	42.4%	25	43.1%	13	36.1%	10	58.8%	4	30.8%	73	42.0%
その他	0	0.0%	1	3.0%	1	1.7%	1	2.8%	2	11.8%	0	0.0%	5	2.9%
合 計	17		33		58		36		17		13		174	



分析・検討

総じて

自動車リサイクル法の認知については、「知っている」と答えた方は76.9%であり、「知らない」方も2割を超えたことは、セールスマンを通じ、引き続き自動車リサイクル法の説明が必要ですね！

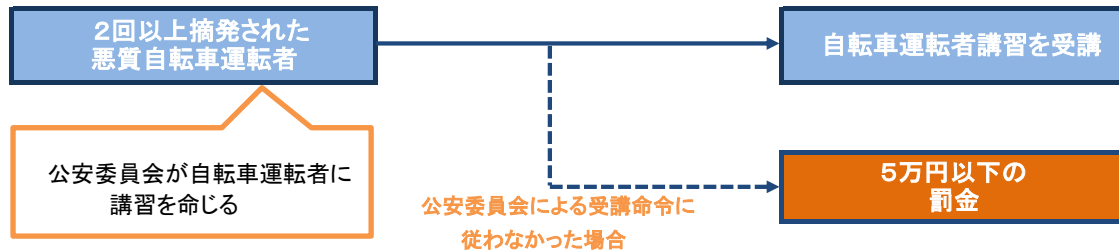
また、「知っている」と答えた方の中でも「説明されないと思う」、「わからない」と答えた方に対しては、自動車リサイクル法の目的や運用状況に関する説明が必要ですね！



Q9：交通安全についてお伺いします。

1) 昨年6月1日から下記の通り自転車利用に関する道路交通法の一部が改正されました。

交通の危険を生じさせる違反行為を2回以上摘発された自転車の運転者は、公安委員会の命令を受けてから3ヵ月以内の指定された期間内に安全運転を行わせるための講習が義務づけられました。(14歳以上が対象)

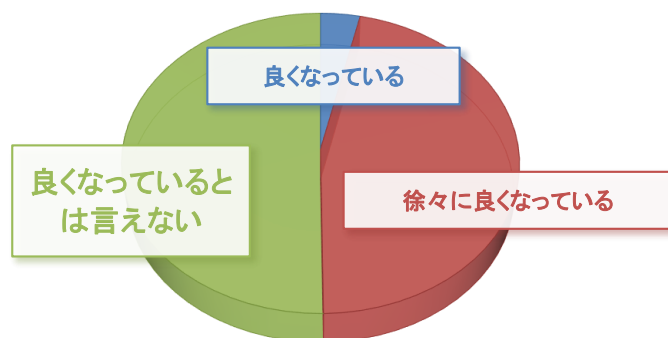


自転車による危険な違法行為

- ① 信号無視 ② 通行禁止違反 ③ 歩行者用道路における車両の義務違反(徐行違反) ④ 通行区分違反
 ⑤ 路側帯通行時の歩行者の通行妨害 ⑥ 遮断踏切立入り ⑦ 交差点安全進行義務違反等
 ⑧ 交差点優先車妨害等 ⑨ 環状交差点安全進行義務違反等 ⑩ 指定場所一時不停止等
 ⑪ 歩道通行時の通行方法違反 ⑫ 制動装置(ブレーキ)不良自転車運転 ⑬ 酒酔い運転 ⑭ 安全運転義務違反

ア) あなたは、自転車利用に関する道路交通法改正後、自転車利用者のマナーに対する意識や行動が改善されてきたと感じますか。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
非常に良くなっている	2	5.9%	2	4.9%	2	3.0%	2	4.8%	0	0.0%	0	0.0%	8	3.5%
徐々に良くなっている	14	41.2%	22	53.7%	30	44.8%	15	35.7%	12	50.0%	12	63.2%	105	46.3%
依然として、良くなっているとは言えない	18	52.9%	17	41.5%	35	52.2%	25	59.5%	12	50.0%	7	36.8%	114	50.2%
合 計	34		41		67		42		24		19		227	



年別対比(2年間)

回答項目	27年度		28年度	
	人員	%	人員	%
非常に良くなっている	12	3.2%	8	3.5%
徐々に良くなっている	122	32.2%	105	46.3%
依然として、良くなっているとは言えない	245	64.6%	114	50.2%
合 計	379		227	

分析・検討

① 全体では、
 道路交通法改正による効果については、
 「良くなっているとは言えない」と
 答えた方が50.2%と過半数を超えていますね！

② 年代別では、
 どの年代も、「良くなっているとは言えない」
 の割合が高いのですが、
 60代・70代以上の方では、
 「徐々に良くなっている」と
 感じている方が多い
 ようようです！



● 年別対比

・ 過去2年では、「良くなっているとは言えない」が
 トップには変わりないようじゃ！

「良くなっているとは言えない」が減少し、
 「徐々に良くなっている」が増加した
 ことから見ると、改善の方向が
 見えてきたようじゃな！



イ) 前問で、「依然として、良くなってきているとは言えない」と答えられた方にお尋ねします。
あなたは、自転車運転者のどのような違反行為が特に多いと思いますか。

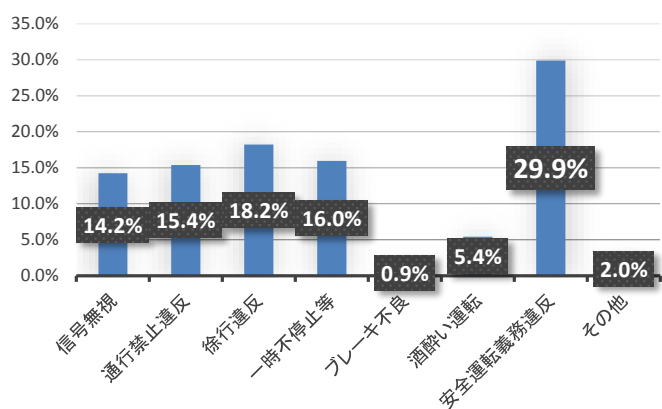
	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
信号無視	12	20.3%	3	7.3%	16	14.2%	9	11.4%	7	16.7%	3	12.5%	50	14.2%
通行禁止違反	6	10.2%	6	14.6%	18	15.9%	14	17.7%	6	14.3%	4	16.7%	54	15.4%
歩行者道路での徐行違反 (スピードの出し過ぎ)	12	20.3%	8	19.5%	16	14.2%	16	20.3%	8	19.0%	4	16.7%	64	18.2%
指定場所一時不停止等	10	16.9%	4	9.8%	16	14.2%	15	19.0%	8	19.0%	3	12.5%	56	16.0%
ブレーキ不良自転車運転	2	3.4%	0	0.0%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.9%
酒酔い運転	3	5.1%	0	0.0%	7	6.2%	5	6.3%	1	2.4%	3	12.5%	19	5.4%
安全運転義務違反 (傘さし、スマホ・携帯電話の操作等)	14	23.7%	19	46.3%	34	30.1%	20	25.3%	11	26.2%	7	29.2%	105	29.9%
その他	0	0.0%	1	2.4%	5	4.4%	0	0.0%	1	2.4%	0	0.0%	7	2.0%
合 計	59		41		113		79		42		24		358	

分析・検討

全体・年代別では、
「安全運転義務違反」と答えた方が、どの年代でも多く、30代では約半数になっています！
次いで、「歩行者道路での徐行違反」でした。

総じて

各種違反、特にスマホ・携帯電話の操作等による自転車走行は避け、
交通事故を起こさない努力を
ひとりひとりが心掛けたい
ものです！



2) 自動車やバイク等の薄暮時からのヘッドライト点灯が浸透しておりますが、夜間のヘッドライト無灯火走行や高速道路トンネル内でのヘッドライト無灯火走行の自動車を見受けることがあります。あなたは、このような無灯火運転の危険性を防止するため、どのような対策が必要だと思いますか。次の中から一つだけお選び下さい。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
道交法を改正し、厳罰化する	10	28.6%	12	28.6%	11	15.7%	12	26.7%	4	16.0%	8	40.0%	57	24.1%
取締りを強化する	16	45.7%	14	33.3%	25	35.7%	15	33.3%	12	48.0%	7	35.0%	89	37.6%
交通安全期間中等にチラシ等で注意喚起を呼びかける	7	20.0%	8	19.0%	19	27.1%	11	24.4%	6	24.0%	5	25.0%	56	23.6%
その他	2	5.7%	8	19.0%	15	21.4%	7	15.6%	3	12.0%	0	0.0%	35	14.8%
合 計	35		42		70		45		25		20		237	

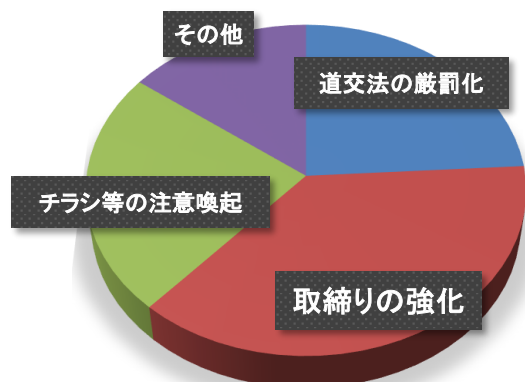
分析・検討

① 全体では、
「取締り強化」の割合が最も高く37.6%となりましたね！

② 年代別では、
20代以下から60代では、「取締りを強化する」が、
70代以上では、「道交法の厳罰化」となりましたね！

総じて、

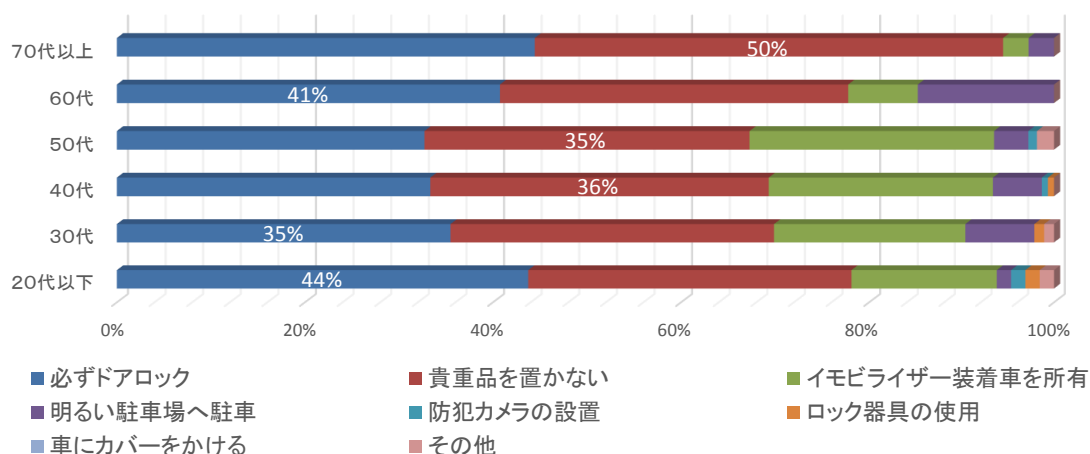
無灯火車両に対しては、行政による法改正や
取締りをユーザーは希望していますが、
一方で、無灯火車両についての周知や
注意喚起が必要ということですね！



Q10:あなたは、車の防犯対策として、どのような事を行っておりますか。

(複数回答可)

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
短時間でも必ずドアロックするようにしている	28	43.8%	33	35.5%	50	33.3%	35	32.7%	22	40.7%	16	44.4%	184	36.5%
車内に貴重品を置かない	22	34.4%	32	34.4%	54	36.0%	37	34.6%	20	37.0%	18	50.0%	183	36.3%
イモビライザー付の車を所有している	10	15.6%	19	20.4%	36	24.0%	28	26.2%	4	7.4%	1	2.8%	98	19.4%
自宅の駐車場を明るくしている、又は明るい駐車場を選んでいる	1	1.6%	7	7.5%	8	5.3%	4	3.7%	8	14.8%	1	2.8%	29	5.8%
防犯カメラを付けている、又は防犯カメラが付いた駐車場を選んでいる	1	1.6%	0	0.0%	1	0.7%	1	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.6%
ステアリング・ペダル・ホイール等にロック器具を使用している	1	1.6%	1	1.1%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	0.6%
車にカバーをかけている	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
その他	1	1.6%	1	1.1%	0	0.0%	2	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	4	0.8%
合 計	64		93		150		107		54		36		504	



分析・検討

① 全体では、

「必ずドアロック」が36.5%でトップ。続いて、「貴重品を置かない」が36.3%でしたが、殆ど差がありませんね！

② 年代別では、

全年代で、「必ずドアロック」と「貴重品を置かない」が最も多くなり、ユーザーの皆様は何らかの防犯対策をしているようですね！また、「イモビライザー装着車を所有」も30代から50代の現役世代では対策の一つとなっているようですね！

総じて

現在、自動車の盗難件数が増加していますが、セキュリティ機器に頼るだけでなく、ユーザー自身の自己防衛により未然に盗難を防止することが重要ですね！



年別対比(2年間)

● 年別対比

・過去2年では、大きな変化はなく「必ずドアロック」、「貴重品を置かない」が大半の対策のようじゃな！

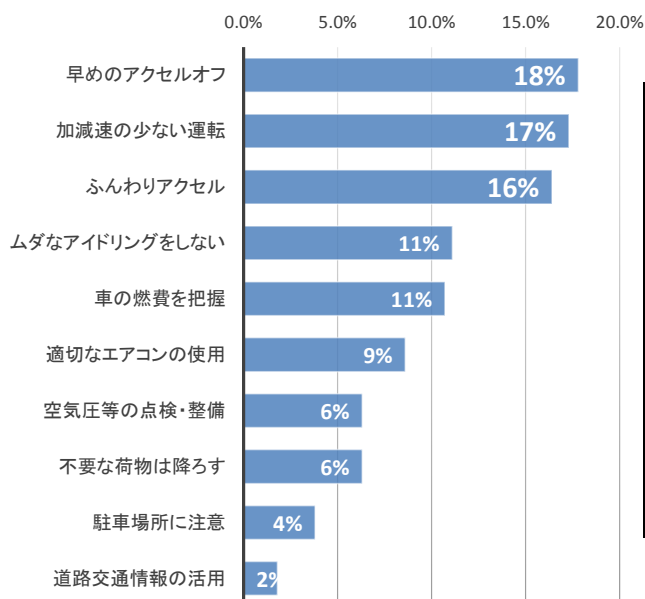
・「イモビライザー装着車を所有」は、若干ではあるが増加しているところを見ると、標準装備の車両が増えているようじゃな！



回答項目	27年度		28年度	
	人員	%	人員	%
必ずドアロック	319	40.3%	184	36.5%
貴重品を置かない	293	37.0%	183	36.3%
イモビライザー装着車を所有	134	16.9%	98	19.4%
明るい駐車場へ駐車	35	4.4%	29	5.8%
防犯カメラの設置	6	0.8%	3	0.6%
ロック器具の使用	2	0.3%	3	0.6%
車にカバーをかける	1	0.1%	0	0.0%
その他	2	0.3%	4	0.8%
合 計	792		504	

Q11 : 次のエコドライブ10項目の内、あなたが日頃、特に心掛けていることを3つまでお選び下さい。

	20代以下		30代		40代		50代		60代		70代以上		合 計	
	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%	人員	%
ふんわりアクセル『eスタート』 (優しい発進)	17	19.8%	25	17.7%	32	14.5%	21	14.6%	18	21.2%	7	12.5%	120	16.4%
車間距離にゆとりをもって、加減速 の少ない運転 (定速走行)	14	16.3%	27	19.1%	32	14.5%	27	18.8%	16	18.8%	11	19.6%	127	17.3%
減速時は早めにアクセルを離す (エンジンブレーキの活用)	17	19.8%	29	20.6%	40	18.2%	22	15.3%	13	15.3%	9	16.1%	130	17.8%
適切なエアコンの使用 (こまめな温度・風量の調整)	9	10.5%	12	8.5%	15	6.8%	13	9.0%	4	4.7%	10	17.9%	63	8.6%
ムダなアイドリングは止める (無用なアイドリングを止める)	6	7.0%	12	8.5%	31	14.1%	16	11.1%	10	11.8%	6	10.7%	81	11.1%
道路交通情報の活用 (渋滞や交通規制等の情報チェック)	2	2.3%	1	0.7%	5	2.3%	4	2.8%	1	1.2%	0	0.0%	13	1.8%
タイヤの空気圧から始める点検・ 整備	2	2.3%	9	6.4%	15	6.8%	11	7.6%	7	8.2%	2	3.6%	46	6.3%
不要な荷物は降ろす	6	7.0%	7	5.0%	16	7.3%	10	6.9%	4	4.7%	3	5.4%	46	6.3%
走行の妨げとなる駐車を止める	3	3.5%	5	3.5%	9	4.1%	4	2.8%	3	3.5%	4	7.1%	28	3.8%
自分の車の燃費を把握する	10	11.6%	14	9.9%	25	11.4%	16	11.1%	9	10.6%	4	7.1%	78	10.7%
合 計	86		141		220		144		85		56		732	



年別対比(3年間)

回答項目	26年度		27年度		28年度	
	人員	%	人員	%	人員	%
ふんわりアクセル	175	16.6%	203	17.2%	120	16.4%
加減速の少ない運転	193	18.3%	205	17.3%	127	17.3%
早めのアクセルオフ	189	17.9%	203	17.2%	130	17.8%
適切なエアコンの使用	98	9.3%	102	8.6%	63	8.6%
ムダなアイドリングをしない	112	10.6%	137	11.6%	81	11.1%
道路交通情報の活用	16	1.5%	14	1.2%	13	1.8%
空気圧等の点検・整備	69	6.5%	72	6.1%	46	6.3%
不要な荷物は降ろす	56	5.3%	72	6.1%	46	6.3%
駐車場所に注意	41	3.9%	48	4.1%	28	3.8%
車の燃費を把握	107	10.1%	126	10.7%	78	10.7%
合 計	1056		1,182		732	

分析・検討

- ① 全体では、
「早めのアクセルオフ」が17.8%でトップですね！
続いて、「加減速の少ない運転」、「ふんわりアクセル」
の順ですが、殆ど差がありません！
- ② 年代別では、
20代以下、30代、40代では、「早めのアクセルオフ」が
50代と70代では、「加減速の少ない運転」が
60代では、「ふんわりアクセル」が
最も高いですね。

総じて、
いずれもアクセル操作による燃費向上を
目指す努力をしている
ことが分かりますね！

環境に優しく、お財布に優しい
エコドライブに
是非ご協力ください！



● 年別対比

- ・今までは「加減速の少ない運転」が最も多かった
ようじゃが、今年は「早めのアクセルオフ」が最も
多くなりましたな！
- ・「早めのアクセルオフ」、「加減速の少ない運転」、
「ふんわりアクセル」といったアクセル操作による
心掛けは半数以上の方がされているようじゃな！

現在、自動車メーカーでは、次々と
燃費の良い車を生産している
が、車を運転する立場
からも出来る努力を
継続したいもの
じゃな！



『エコドライブ』についての関係資料を掲載しますので、ユーザーの皆様へのご説明等にご活用下さい。

エコドライブとは？

地球温暖化対策の中で一番大きな課題なのがCO₂の排出量削減。このCO₂の排出量を減らすには化石燃料の消費を減らす必要があります。運輸部門のCO₂排出量は全体の17%。その中でも自家用車からの排出量が約半分を占めており、自家用車から排出されるCO₂を削減することが急務なのです。

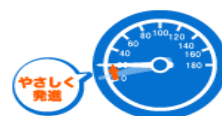
ハイブリッドカーの普及をはじめとする関係各方面の技術開発の努力が進んでいることもあり、その効果が出はじめてはいるものの、全保有台数の増加などもあり、CO₂排出量は1990年に比べて、約20%増加しています。

自動車単体のみの対策だけでなく、環境に配慮した自家用車使用の促進が求められているのです。

エコドライブ10のススメ

1. ふんわりアクセル「eスタート」

発進するときは、穏やかにアクセルを踏んで発進しましょう（最初の5秒で、時速20km程度が目安です）。日々の運転において、やさしい発進を心がけるだけで、10%程度燃費が改善します。焦らず、穏やかな発進は、安全運転にもつながります。



2. 車間距離にゆとりをもって、加速・減速の少ない運転

走行中は、一定の速度で走ることを心がけましょう。車間距離が短くなると、ムダな加速・減速の機会が多くなり、市街地では2%程度、郊外では6%程度も燃費が悪化します。交通状況に応じて速度変化の少ない運転を心がけましょう。



3. 減速時は早めにアクセルを離そう

エンジンブレーキを使うと、燃料の供給が停止される（燃料カット）ので、2%程度燃費が改善されます。停止位置が分かったら、早めにアクセルから足を離して、エンジンブレーキで減速しましょう。また減速したり、坂道を下る時にはエンジンブレーキを活用しましょう。



4. エアコンの使用は適切に

車のエアコン（A/C）は車内を冷却・除湿する機能です。暖房のみ必要なときは、エアコンスイッチをOFFにしましょう。また、冷房が必要なときは、車内を冷やしすぎないようにしましょう。たとえば、車内の温度設定を外気と同じ25℃に設定した場合、エアコンスイッチをONにしたままだと12%程度燃費が悪化します。



5. ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングはやめましょう（※1）。10分間のアイドリング（エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を消費します。また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です（※2）。エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。

※1：交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。（自動アイドリングストップ機能搭載車は問題ありません。）

- ・手動アイドリングストップ中に何度かブレーキを踏むとブレーキの効きが悪くなります。
- ・慣れないと誤動作や発進遅れが生じます。またバッテリーなどの部品寿命の低下によりエンジンが再始動しない場合があります。
- ・エアバッグなどの安全装置や方向指示器などが作動しないため、先頭車両付近や坂道での手動アイドリングストップは避けましょう。

※2：-20℃程度の極寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。



6. 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認し、時間に余裕をもって出発しましょう。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。たとえば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。



7. タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します(適正値より50kPa(0.5kg/cm²)不足した場合)。また、エンジンオイル・オイルフィルター・エアクリナエレメントなどの定期的な変換によっても燃費が改善します。



8. 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。



9. 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車はやめましょう。交差点付近などの交通の妨げになる場所での駐車は、渋滞をもたらします。迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させるばかりか、交通事故の原因にもなります。迷惑駐車のない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。



10. 自分の燃費を把握しよう

自分の車の燃費を把握することを習慣にしましょう。日々の燃費を把握すると、自分のエコドライブ効果を実感できます。車に装備されている燃費計・エコドライブナビゲーション・インターネットでの燃費管理などのエコドライブ支援機能を使うと便利です。



- 詳しくは、“エコドライブ普及推進協議会ホームページ”をご覧ください。
>>> <http://www.http://www.ecodrive.jp/>
- 当協会は“信州豊かな環境づくり県民会議”の会員であり、エコドライブネットワークのメンバーです。
この運動がよりいっそう推進されますようご協力をお願い致します。
- 平成19年1月1日から『長野県地球温暖化対策条例』が制定され、自動車関係にも努力義務があります。
長野県公式ホームページ >>> <http://www.pref.nagano.lg.jp/ontai/kurashi/ondanka/shisaku/jore/index.html>

ユーザーの皆様からお寄せいただいた意見・要望

多くのユーザーからお寄せいただいた貴重なご意見・ご要望を掲載させていただきますので、有効にご活用いただければ幸甚に存じます。

■ 車の販売活動について

(20代男性)

- ・日頃から熱心にやっていると思う。

(30代男性)

- ・値引きありきでの販売に疑問を感じる。

(30代女性)

- ・どこのメーカーも同じような車しかないような気がします。
- ・広告が細かい字で見えづらいものがある。

(40代男性)

- ・良いものを適正な価格で提供し続けてください。

(40代女性)

- ・その車種のメリット・デメリットを説明してもらえると安心します。各メーカーが揃うと比べやすく良いですね。(イベントで行った時、とても良かったです。)

(50代男性)

- ・良い所だけの説明だけでなく他社より性能面で劣ることもしっかり説明すべきである。
- ・販売店によって良い店と悪い店があると思います。初めて入っても誰にも相手にされない店がどのメーカーにも多く見かけられます。

(50代女性)

- ・とても良い対応をしてもらっている。
- ・不良車が出て回収点検する時は取りに来て届けてほしい。(こちらの過失ではないのだから。)

(60代男性)

- ・水素車を安くしてほしい。
- ・パンフレット大きな字で書いてください。わかりやすく。

(70代男性)

- ・セールスマンの態度が購入希望者の気持ちを左右することがある。
- ・販売店も常時情報を報告していただくとありがたい。
- ・車の説明とあわせて諸費用についても説明してほしい。

(70代女性)

- ・良質な車であって欲しい。

■ 車の点検整備について

(20代男性)

- ・とても親切である。

(20代女性)

- ・車のことはよくわかりませんので、安心して乗れるように点検していただきたいです。
- ・洗車までしてくれて満足です。

(30代男性)

- ・12ヵ月点検未実施に対する罰則を設けてほしい。
- ・12ヶ月点検をされてない方が多い。

(30代女性)

- ・点検パックの内容がお得なのかどうかよくわからない。

- ・セルフのガソリンスタンドが増えてきて、ガソリンスタンドでのちょっとした点検をしたくても気軽にできなくなっている。

- ・複雑に感じてしまう。

(40代男性)

- ・法定点検に罰則が無い為、あいまいな気がする。
- ・1年1回の定期点検未実施車両等で事故にあった時は、割増などのペナルティを実施してはどうか。
- ・ユーザー車検をやってみようと考えています。

(40代女性)

- ・車検時の税金いらない。
- ・いつも点検のハガキを頂きありがとうございます。
- ・購入の時だけ愛想が良い販売店が多い。

(50代男性)

- ・最近ブレーキランプが切れたまま走っている車が昔より多い気がします。毎年車検が廃止され10年以上前の古い車が増えたせいでしょうか？
- ・12ヶ月の法定点検にも何らかのペナルティを設けて必ず実施することを義務付けた方が良いのでは。法定となっているだけで、拘束力が何も無く、有名無実と受け取っているドライバーが多い。
- ・定期点検を行っている車は車検の割引をしてほしい。
- ・車両代金に含めればよい。
- ・いつものディーラーさんに感謝致しております。
- ・10年、10万km 部品交換の必要がない車（本体部分）開発、点検整備費の安価を望みます。

(50代女性)

- ・点検時期を教えてください。

(60代男性)

- ・5,000km オイル交換は是非ともやっていきたい。

(60代女性)

- ・私は、車をもっていないですが、2人の娘はきちんと点検整備されていて良いです。
- ・車検が通れば良いと云う考え方ではなく、心を込めて点検してほしい。

(70代男性)

- ・通常使用している時に気づいた時点で、すぐ整備工場で点検し整備の必要があれば整備して貰う様にしている。
- ・忘れていても会社から連絡していただき、ありがたいといつも思っています。
- ・定期的に案内を頂き感謝している。
- ・販売店様の指導が丁寧でありがたい。
- ・車の性能が良くなってきているので1年点検で良いと思います。

(70代女性)

- ・大事な事なので十分をお願いしたい。

■ 車の税制について

(20代男性)

- ・税金が多い。高い。
- ・車を買うことでこんなにも税制で持っていかれるのは納得できません。
- ・生活に欠かせない物なのに高すぎる。もう少し考えてもいいと思う。
- ・高い！

(20代女性)

- ・自動車税について長年乗っていると税金が上がるので、車を買えない状況の中で出来るだけ長

く大切に乗り続けているのに税金が高くなるのは困る。

- ・高いなと感じる。
- ・軽自動車税をあげて欲しくなかったです。大きな車や高級車の税金をあげたらいいのではないですか。
- ・税金がどんどん上がる一方なので、点検、車検などでお金がかかるから、もう少し安くなればと思う。

(30代男性)

- ・生活必需品とも言える車に対して贅沢品を持っているかのごとく二重課税などされていると思う。エコカーなどの自動車税に対する継続的な減税にしてほしい。
- ・2重課税をなくしてほしい。
- ・エコカーなのに税金が高いと思う。もっと優遇してほしい。
- ・税金が高い。

(30代女性)

- ・長く大切に1台に乗り続けている人の方が、税金が高いのはおかしいと思う。
- ・車、本体の金額も年々高くなり、税金も上がり、これでは車すら持てないという人達が増えそう。
- ・簡単に取れるからといってどんどん上げていくのは不満。
- ・3ナンバーの税は上げて良いと思う。
- ・高すぎる。

(40代男性)

- ・今回の三菱等の不正について税制上メーカーに過度な負担になったのではないかと思います。
- ・自動車税と重量税の二重課税。
- ・排気量による課税額の差。
- ・車に関わることに税金が課されすぎ。
- ・年数が長い車を使用していると税金（自動車税等）が上がるのは、低所得者に対して負担が大きいのではないか。
- ・税金（自動車税）が高すぎると思う。軽自動車が安すぎる。
- ・古い車（旧車）を大切に使う文化が必要、重量税の増加はNG。整備業界でもメーカーとして旧車のレストアパーツ販売等が可能。
- ・車の台数が増加しているに伴い、大幅な増税をして公共交通利用促進につなげるべき。
- ・走行距離の長い車両への課税強化、なるべく車に乗らず歩くなり公共交通を利用するライフスタイルへ。
- ・税率の見直し（高い）。
- ・ガソリンを含む二重課税。
- ・税金は高いですね。仕方ない気もありますが、車を所有するのはお金がかかります。
- ・古い車を大事に乗れるような仕組み。
- ・ガソリン税に消費税が入るのは納得出来ない。
- ・税金の使い道に不信がある。（個人的に）

(40代女性)

- ・税金が高い。
- ・もう少し安くなると助かります。
- ・自分の車なのに税金ばかり取られている。車検毎、毎年の自動車税。

(50代男性)

- ・自動車税、取得税、重量税、3種類の税金が車にかかっているが、それぞれが何にいくら使われているかが不透明なので、わかりやすくなると良いと思います。
- ・軽自動車税の支払いが1ヶ月遅れると100円が付く！納得できない。小型はそんなに付かない。
- ・ガソリンの2課税廃止。

- ・都心部や大都市の交通網の発達した地域と過疎地と金額を県税・市税共に見直ししてもらえたら良い。市街地（大都市）では公共の交通機関があるにもかかわらず、車は贅沢品＝高額税。過疎地は生活の手段であるので＝定額にしたら良いかと思います。
- ・高い、買う、維持、使う、すべて税。
- ・大切に長く使用している車の税金がUPするのはおかしい！！
- ・エコカーに対するさらなる減税
- ・車の税制はおかしい。
- ・車の税金の取り方が多くあり、2重、3重に取られているので1つにしてほしい。高すぎると思う。長く車を乗ろうとしても税金が高くなるのはイヤなものです。

（50代女性）

- ・都心ではともかく、地方において自動車は必需品ですが、ガソリンにも税が掛かり自動車税（毎年）、重量税ととにかく維持するのに大変です。ぜいたくで車を持っているわけではない地方の生活も考慮してほしいです。

（60代男性）

- ・車についてのどのような税金があるのか良くわからない。
- ・もっと安くしてほしい。
- ・廃車費用の低減制度化。
- ・10年以上乗ったら安くする。
- ・少し高すぎると思います。
- ・取得税、消費税、重量税、自動車税と税金が多すぎる。車は生活必需品であり、決して贅沢品ではない。取りやすい所から取っているのはおかしい。

（60代女性）

- ・税金の種類が多過ぎると思います。

（70代男性）

- ・よくわからない。
- ・新車登録より13年後の高税金考えてほしい。

（70代女性）

- ・車はお金が掛けるけど必要だと思う。

■ 使用済自動車の処理について

（30代男性）

- ・海外への輸出をもっとして廃車を少なくする。

（30代女性）

- ・エコとは何か。エコカーは賛成だが、古いもの（使える物）を大事にせず、どんどん買い換えるのはいかがなコトかと思う。
- ・スマホ片手に運転している人を良く見る。法改正して厳罰化して欲しい。

（40代男性）

- ・放置自動車は問題だが、抹消するにあたり手続きが複雑すぎる。
- ・リサイクルについては画面で廃車状況が分かるようになったのは良いことであるが、実際の車がどうやって処理されているかが分からない。画像を添付するなどして適正処理されているかどうか分かるようにすればより安心できる。
- ・リサイクルが進められているとのこと何よりです。
- ・車のリサイクルに対して興味はあるが、あまり知りません。今回の環境フェアで少し知ることができて良かった。

（40代女性）

- ・どの企業がどのようにリサイクル処理をしてどうなっているのか伝わってこないのがよくわからない。

- ・処理結果をもっと大々的に公表すべき。
- (50代男性)
- ・海外への輸出促進。
- (60代男性)
- ・スマホ使用時は動かない装置を全車種に義務化すべき。安全第一の運転を優先して下さい。自動運転はポケモンGOの使用が増加しないように工夫が必要。
 - ・20万km乗ったら表彰してあげるとか大切にしてほしい。
 - ・リサイクルを分かりやすくPRしてほしい。
- (60代女性)
- ・あまり知られていないので知りたい。
- (70代男性)
- ・下取りを完全にして処理してほしい。
- (70代女性)
- ・適切に無駄なくリサイクルをお願いしたい。

■ 交通安全について

- (20代男性)
- ・自己中心的な運転をしている人が多い。速度超過も良くないが遅すぎるのもどうかと思う。
- (20代女性)
- ・自分のことしか考えない運転をする人を良く見かけます。正直に迷惑ですしこわいです。注意をするなどしていただきたいです。
 - ・細い道でスピードを出してくる車がいて危ないと感じることがある。
- (30代男性)
- ・年配の方の運転が危険を感じる。
- (30代女性)
- ・お年寄りの危険運転が増加している。ウィンカーとは逆方向への曲がり、赤信号の見落としなど、規制速度よりも遅く渋滞を巻き起こしている。
 - ・歩行者にもマナーが無い人が多くいるように感じます。
 - ・車は歩行者や自転車に対し、もう少し配慮や思いやりの気持ちを持つことが必要であると思います。
 - ・横断歩道で渡る人がいる時は必ず止まるようにしています。
 - ・取り締まるだけでなく、見ていて気持ちの良い運転をしている人が増えるのが望ましい。
- (40代女性)
- ・事故の無い世の中に…。
 - ・運転者も歩行者もマナーを守って欲しい。
 - ・自動車がいくら気を付けても自転車のマナーが悪い事が多く、何かあれば自動車側が悪くなるのは公平ではない気がする。もっと厳しく自転車も取り締まった方がいいのでは。
 - ・各販売店で自動車の安全啓発パンフレットなど、来客の方にお渡ししてドライバーからの目線と実際のところを理解してもらいたいです。ドライバーさんの中には、自転車は歩行者の仲間と思っていて事故につながっている所もあるでしょうし、ご家族で自転車に乗る方への啓発にもなると思います。(もうすでに実施されていたらすみません。)
 - ・高齢者による諸問題は、思いやりを持つなどの周囲の理解も大切だが、高齢者だからといいルール違反は危険であり不愉快で許せない。必要があれば、取締り強化もやむなし。自動運転機能の開発が目覚ましいが、個人的には安全上とても不安を感じる。扱う側(運転者)も機能の性質などきちんと理解することが重要。
- (40代男性)
- ・自動運転装置の早期実用化と高速道路には専用レーンがあれば事故が減るのではないかと思います。

又、首都高など交通量の多い所へも行ける様になると思います。

- ・飲酒運転、暴走行為は更なる厳罰化。
- ・イベントの回数を増やす。
- ・スピードが50km, 100km（切換え可）しか出ない車を出す。（作る）
- ・無理な運転をする車や歩行者保護ができない車が多いと感じる。
- ・自動ブレーキがついている車が多くなってきた。そのような車に乗ってみたい。
- ・狭い道を暴走する車…まだまだ、マナーの良くないドライバーが目につきます。歩行者への脅威…これだけ技術（自動運転など）が進んでいるのですから、市街地では、速度を出せないように制限をかけるなどやれば良いのではないのでしょうか？期待しております。
- ・とても大切な事、命を守る運転が一人一人に必要！！

（50代男性）

- ・飲酒運転で死亡事故を起こしても危険運転致死傷害が適用されないケースが多すぎると思います。飲酒運転が違法であることを承知で運転すること自体が既に走る凶器を操っていることだと思います。
- ・通学路などでの車の速度が守られていない。通学路には道路に段差をつけるなどの対策。車道を自転車走るのはとても危険。都市部以外の歩道の自転車通行を検討してほしい。（年齢に関係なく、又歩道に人が少ない幅が広いなど条件付で。）
- ・大型車の運転マナーを向上して欲しい。大型車は、一度事故に至れば軽や小型乗用車の比ではない事故の被害をもたらすので、観光バスやトレーラー等で違反をした場合は総重量等で係数を設けて違反者等に関する比率を重たくしてはどうか。
- ・自転車の右側通行を取り締まる必要があります。
- ・高齢者ドライバーの増加は感じる。
- ・事故には注意しています。
- ・ウィンカーの遅出し車多い！！30m手前3秒前が守られていない。
- ・警察による取締り強化をもっともっとすべき。
- ・信号無視の運転をしている人が多いのが現実です。急いでいる人が多いため事故が多発しています。自分だけでなく他の人の事も考えられる運転をしてほしいものです。
- ・加害者になってしまう可能性は有る。保険の適正加入。

（50代女性）

- ・自転車道路の上に左に止めてある車を避けての右側を走る自転車をはみ出してきて危険なので対策が必要だと思う。
- ・自動車運転者も自転車も歩行者もとにかくスマホを使用しながら、ということが多くヒヤッとすることがとても多いです。
- ・学生、高校生の自転車が危険だと感じる事が多くあります。横道から出る時に一時停止をしてほしいと思います。又、自転車の通行区域に自動車が停車することが多く、自転車で通り過ぎる時に急にドアが開いたり、後ろから車が来たり危険がいっぱいと感じています。

（60代男性）

- ・特にスピードの取締りを強化してほしい。
- ・自動車の安全向上及び追突防止の諸装置の普及を望みます。特に大手メーカーは率先して実行して欲しい。
- ・長野（市）は余り運転マナーが良いとは思えない。特に方向指示器の操作が遅すぎる人が見られる。信号機の無い横断歩道での歩行者に対する注意（停車）が悪い。歩行者が居る場合には自動車は停車し対向車に対し（対向車の速度に注意した上で）パッシングで合図を送り停車させる様にしている。
- ・中高生の自転車での交差点（見通しの悪い小さい所）で一旦停止もせず飛び出してくる者がすごく多い。怪我するのは自分なのに、又自動車も前方注意で処罰される。中高生の交通安全教育にもっと車側の目線による危険ということを徹底して教えた方が良くと思う。車を運転して初めて自転車の飛び出しが恐ろしいかということが分かるので。

- ・高速での車間が守られていない、死にたいのか。アルコール検知を全車につけて飲酒0に！
- ・営業車なのにヘッドライトを点けない。携帯を操作しながらの運転をしている車は、もっと厳しい罰を与えることが必要。大型バス、トラック（角型車両）が車間をあまり取らない（運転中、停車時など）のは、前の車に圧迫感を与えるのでやめてほしい。
- ・方向指示器（ウィンカー）を出さない車が多く見られる。直前に出すか出さないで右左折する。
- ・自分に言い聞かせて10km減で運転中です。
- ・自転車の違法駐輪等道交法に対しても、徹底的に取締りを強化して厳罰化すること。
- ・法規を守らない車、自分勝手な運転をするドライバーが多い。皆が思いやりのある運転をする
と事故も減るだろう。

（60代女性）

- ・学生の自転車の乗り方には目にあまるものがある。指導をしてもらいたい。
- ・高齢者の事故が多いので年齢制限があった方が良いのでは。

（70代男性）

- ・長野市内において方向指示器を出さないで曲がる車が多くみられ、危険を感じることもある。
- ・高齢のため、安全運転に努めています。
- ・酒酔い運転は絶対にやめて下さい。

（70代女性）

- ・自分が法に従っても、相手が守らなく事故になるのが恐ろしい。
- ・長野、松本ナンバーの車はウィンカーを出すのが遅い。特に右折時、他県の人より良く言われる。長野県では教えていないのか！と感じる。
- ・お年寄りの判断がにぶいので困る。制限速度を守ってほしい。

□ その他

（30代女性）

- ・環境フェアに居らした方はとっても感じの良い方でした。ありがとうございました。

（40代男性）

- ・公共交通機関の整備が遅れている地方都市は、車が必要不可欠です。環境に配慮した車がもっと安価に購入できればいいと思います。
- ・車両の価格が段々と高くなってきているので、もう少しメーカーに価格を考えてほしい。

（40代女性）

- ・車の機能をチェックする際は同じ所で同じ人がチェックするようにする。独自チェックはしない。調査機関を設置してどこのメーカーも平等に。

（50代男性）

- ・自動運転の車の早期実現化。
- ・ガソリン税の税制も変えてほしいものです。道路等の補修を進めてほしい。

（50代女性）

- ・燃費不正問題とは直接的に関係ないと思いますが、どのメーカーもカタログ上の燃費と実際走行した時の燃費が違いすぎると思います。販売1年以上経った自動車には、ユーザーの平均燃費をカタログ上にも記載する法律を作れば良いと思います。
- ・自動車会社の燃費問題だけが大きく取り上げられていますが、叩けばホコリは沢山出でくると思います。大切な命を運ぶ車が本当に安全であるように、企業も運転者もゴマカシが無いよう祈るばかりです。

（60代男性）

- ・高速道路の利用料を下げたい。
- ・交通誘導員をしており、高齢者に特に多いのですが、赤白旗の意味が良く解っていない方が見受けられます。講習会等の際、説明していただくと有りがたいです。貴協会よりの働きかけをお願いします。

- ・現在ラウム使用者です。174,400Km 走行ですが、快調で12km/lの燃費です。スライドドア、ラウム並みの荷物スペース車長4m（ラウム並み）ハイブリッド車を探しています。ラウムのハイブリッド車を造って欲しい。5人乗りのシエンタを開発して2017年3月に販売して下さい。その分価格を安くして欲しい。イカツイフロントマスクも要改善。
- ・高齢者がルールを守らないことは迷惑でドライバーは被害者です。
- ・夕方のヘッドライトの点灯のタイミングの遅い車が多い。
- ・最近の車はスペアタイヤがなく、パンク修理材はあるが、それでは復旧できないことがありました。先日知り合いが山道で亀裂パンクしました。たまたま通った方がいて自分のタイヤを貸してもらいまして、何とか家に戻ることが出来ましたが、前のようにスペアタイヤの装備をしたらどうでしょうか。（自動車メーカーに希望。）
- ・電気自動車は電気スポットの市内一覧表が欲しいです。

（60代女性）

- ・道路の案内標識がとても中途半端に感じます。標識通りに進んだところで三叉路などがあってもそこには標識がなくどうしてよいかわからないことがよくあります。（ナビがあればよいのでしょうか…。）英国に一年ほど滞在した時に標識がきちんとしていて道に迷わず進みました。車に限らず歩行者にも便利な道路標識がほしいと思います。
- ・松本市第一地区福祉広場でのお話、寸劇、腹話術等とてもよかったです。本当に有意義な時を過ごさせて頂きありがとうございました。

（70代女性）

- ・車は便利、事故があってはならないので、日頃安全についての勉強が必要。
- ・若者のスピードの出しすぎに困る。